

第 28 回 電磁界情報センター運営委員会 議事録 (案)

1. 日 時 : 2021 年 9 月 16 日 (木) 10:00~12:00
2. 場 所 : 電磁界情報センターなどの会議室およびオンライン会議 (Zoom)
3. 出席者 : 木下委員長、衛藤委員、緒方委員、葛西委員、小島委員、原委員、飛田委員、山根委員
[事務局]一般財団法人電気安全環境研究所 尾崎専務
電磁界情報センター 大久保センター所長
4. 議事次第 :
 - (1) 定足数の確認報告
 - (2) 専務挨拶
 - (3) 【審議】第 27 回電磁界情報センター運営委員会 議事録の承認について
 - (4) 【報告】2020 年度 予算執行結果について
 - (5) 【審議】2021 年度 業務計画について
 - (6) 【審議】2021 年度 予算について
5. 配布資料 :
 - ・運営 28-1 運営委員会 委員名簿
 - ・運営 28-2 第 27 回電磁界情報センター運営委員会 議事録 (案)
 - ・運営 28-3 2020 年度 予算執行結果
 - ・運営 28-4 2021 年度 業務計画 (案)
 - ・運営 28-5 2021 年度 予算 (案)
 - ・参考 電磁界情報センター運営委員会規程
6. 議事内容 :
 - (1) 定足数の確認報告
電磁界情報センター運営委員会規程第 5 条第 2 項に基づき、運営委員 8 名中、出席の委員が 8 名であることから、第 28 回運営委員会は成立した。
 - (2) 専務挨拶
ご多忙のところ、運営委員会にご出席いただき感謝する。また、日頃、電磁界情報センターの運営にご支援を賜り、心から御礼を申し上げる。今回もオンライン会議ではあるが、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

(3) 第 27 回電磁界情報センター運営委員会 議事録の承認について<審議>

【審議結果】 第 27 回運営委員会議事録について了承された。

(4) 2020 年度 予算執行結果について<報告>

- ・事務局より資料運営 28-3 について説明がなされた。主な質疑は以下の通り。

【質疑】

[委員] コロナ禍のためセミナー費用で 850 万円程度の剰余が生じたとの説明であったが、この予算の扱いはどうなるのか。

[事務局] 2020 年度はセミナー他も合計して全体予算で 760 万円程度の剰余が生じているが、この剰余金は 2021 年度予算に繰越している。

[委員] コロナの影響が継続した場合、2021 年度のセミナー予算も 2020 年度と同程度の剰余が生じるのか。

[事務局] 2021 年度セミナー予算は、コロナの影響が続けば、2020 年度と同水準になると予想されるため、予算策定時にセミナー予算を減額している。その分は、他の項目に予算配分し、コロナによる制約がある中で情報提供の実効性を上げる工夫を考えている。2021 年度予算は委員会後半の議題でご説明する。

(5) 2021 年度 業務計画 (案) について<審議>

- ・事務局より資料運営 28-4 について説明がなされた。主な質疑は以下のとおり。

[委員] 母子健康手帳の副読本として 68 万部を配布との説明であるが、出生数は現在 85 万くらいと思うが、あと 20 万人くらいには配られていないのか。

[事務局] 母子健康手帳を妊婦に渡すのは自治体であるため、母子衛生研究会から各自治体に要否と数量を確認して配布している。各自治体の窓口担当者が副読本を必要かどうか判断するため、要望していない自治体にはお配りできない。

[委員] 電磁界関連の報道記事が 10 件くらいとの説明であるが、どのような報道が多かったのか。日本の報道はあるか。

[事務局] 今回の報道は、すべて海外の政府機関や健康関係の行政機関からの発表である。国内の報道はない。欧州議会の専門委員会が 5G の健康影響に関する調

査報告書を発表している。この中では、「高周波、携帯電話用の周波数帯で人の健康に対する影響がある。」という報告書の結論となっている。ただし、このまま、例えば EU の法律に反映されるかどうかは、今後の EU 側の議論を待たないと分からない状況にある。

[委 員] データベースの論文翻訳数が 3 万 4,000 件というのは、凄まじい件数だと感心している。これはアブストラクトの翻訳ということか。

[事務局] アブストラクトの概要である。アブストラクトをそのまま翻訳することは著作権の問題があるため、真実は曲げずに表現の仕方を工夫している。

[委 員] データベースへのアクセス数が、専門的な内容にもかかわらず多いと感じるが、学術的な目的でのアクセスが多いのか。それとも一般の方が不安に思い調べられるのか。

[事務局] EMF-Portal へのアクセス数の内訳は分からないが、6 月に公開した JEIC 独自のデータベースの新規登録者は、専門家や研究者が多く、一般の市民や公務員も何人か登録されている。

[委 員] 電話の問い合わせ件数が月平均 60 件ということだが、新規の人数どの程度になるのか。

[事務局] 新規割合の正確な数字は不明であり感覚的な回答になるが、8 割以上が新規の方である。磁界が気になるという方は、1 回の電話対応や磁界測定器の貸出サービスを利用してご自身で測定することで納得されることが多い。他方、電磁過敏症や電磁波攻撃に関する問合せの方は、ご納得されず再度問い合わせされるという印象を受けている。

[委 員] ウェブセミナーとオンデマンド配信、団体向けと個人向けでどのような区分けをしているのか。

[事務局] ウェブセミナー（生配信）とオンデマンド配信は、どちらも個人向けである。もともと、何か組織に属していないとセミナーに参加できない、また対面型の依頼講演の場合でも 10 人以上の参加者という制約を設けていたが、それらを撤廃して 1 人からウェブで参加できる形とした。団体向けセミナーは、従来の依頼講演をウェブセミナー形で行うものなる。

[委 員] 磁界測定を行った充電式家電製品は、どのような製品か。充電式家電が増

えている理由は、便利で使いやすいという他にあれば教えて欲しい。

[事務局] 最近需要が増えてきた充電式家電として、ロボット型掃除機、手持ち掃除機、ヘアアイロン、男性向けの髭剃り、電動歯ブラシを選定した。充電式が増えている理由は、バッテリー技術の向上、持ち運びの便利さであり、今後充電式が増えていくのではないかと考えている。

[委員] インターネット広告の配信に関して、若い人はインターネットよりも SNS を見る機会も多いため、若い人向けの情報発信として少し手を広げて SNS にも広告や情報提供を行うなど工夫してはどうか。

[事務局] SNS の利用については検討中でもあり、前向きに検討を進めていきたい。

[委員] 情報提供を行う際に、一般の方々が何を知りたいかというニーズを確認する必要があると思うが、問い合わせやウェブセミナー後の意見などは大体どのような内容が多いのか。

[事務局] 電磁界情報センターで実施するセミナー等での質問は、電力設備とか家電製品といった超低周波領域が多く、次いで携帯電話と携帯基地局、IH 調理器となる。一方で、問い合わせでは、電磁過敏症や電磁波攻撃の件数が多い。電磁界情報センターが独自にどんなことを知りたいかアンケート調査を実施すると、電磁過敏症や電磁波攻撃は僅少である。これらの違いは、アンケートに回答した一般の人たちと電磁界情報センターに問い合わせするというモチベーションを持っている人たちとの差ではないかと想定している。

[委員] セミナー終了後、受講者にアンケートを行っているのか。

[事務局] ウェブセミナー前後でアンケートを行っており、受講前後でリスク認知の軽減が見られることは確認している。

[委員] 情報提供はとても重要であるため、一般の人が知りたいことにきちんと応えていることが分かるデータがあると良い。アンケートデータの活用について検討をお願いしたい。

[委員] 全体的に 2021 年度も大変厳しい中で、きめ細かく丹念な対応をしていることが分かり安心している。情報の更新を非常に重視して新しい情報を提供しており、アカデミックなことも踏まえ一般向けの情報発信も SNS への対応など現在にふさわしい情報提供のあり方を検討しており、今後の展開を期待している。

磁界測定プロジェクトの 2021 年度検討事項について説明願いたい。特に充電方式の接触と非接触のうち非接触については、車などの規模の大きいものを想像していたが、家電製品に着目していくのか。

[事務局] 2020 年に実施した充電式家電製品の磁界測定結果を専門家の方にご説明した際にご助言をいただいております、それを踏まえて今年度の検討事項は、調査範囲を拡大し、報告書の充実を図りたいと考えている。

具体的には、当初小さな家電の充電方式は、すべて接触式と考えていたが、電動歯ブラシなどは非接触式を採用している分、この充電方式の違いについても調査していくこととした。

【審議結果】 2021 年度 業務計画について了承された。

(6) 2021 年度 予算について<審議>

- ・事務局より資料運営 28-5 について説明された。

【審議結果】 2021 年度 予算について了承された。

(7) その他

次回開催の日程は、以下のとおりとする（開催形式は別途調整予定）。

- ・2022 年 3 月 15 日(火) 10 時～12 時

以 上